

# 一般質問発言通告書

発言順位 17 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成27年 6月 16日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 17 番 川原 章寛



質問事項1	改革断行！ ～福祉とサービスの見極めに向けて～
具体的内容	
<p>少子高齢化や人口減少等、社会構造の変化への対応が求められる中、本市におきましては、ファシリティマネジメントや新工業団地の整備等、将来を見据えた取組が推進されております。</p> <p>しかし、社会保障関連経費の増加や市民ニーズの多様化が進む一方、市債残高は増加の一途を辿り、財政状況は悪化しており、現在の市民福祉・サービスの継続が危ぶまれます。</p> <p>そこで、“真の福祉”の拡充に向けまして、下記の内容につきまして伺います。</p>	
1 本市の将来的な財政状況につきまして、どのように推計されているのでしょうか。	
2 財政シミュレーションをする中で、現在の『福祉』や『サービス』を今後も継続的に提供できるとお考えでしょうか。	
3 『福祉』の意味合い、並びに『福祉』と『サービス』の相違につきまして、どのように認識されているのでしょうか。	
4 『福祉』と『サービス』の見極め、即ち、サービスの見直し及び真の福祉の拡充が必要と考えますが、如何でしょうか。	
5 毎年、75歳以上の先輩諸氏へ敬老祝い金をお贈りしている現在の制度から、喜寿・米寿・白寿等、節目毎に金額を増額してお祝いするように、見直しを図るべきと考えますが、如何でしょうか。	
6 敬老祝い金の見直しにより捻出された予算を介護保険施設の整備や介護保険サービスの拡充等、高齢者福祉の拡充に充てるべきと考えますが、如何でしょうか。	
7 中学生以下のお子さんを養育されている保護者の所得を掌握されているのでしょうか。	
8 子ども医療費の支給対象に所得制限を設けるべきと考えますが、如何でしょうか。	
9 子ども医療費に所得制限を設ける事により捻出された予算を保育園や認定こども園の整備・拡充等、子育てに関する福祉施策の拡充に充てるべきと考えますが、如何でしょうか。	
以上	